

2026 年度 小児がんコース

本コースを学びたいようでしたら、以下の応募フォームより申し込みができます。
あなたのプロフィール、志望動機等をフォームに入力してください。
記入後に送信ボタンを押されませんと、応募が完了しませんのでご注意ください。
応募が完了しますと、登録いただいたメールアドレスに回答内容のコピーが送信されます。
この応募完了をもちまして選考への応募とし、採用選考を実施させていただきます。

応募フォーム

<https://forms.gle/Kke2rQfWFAHxc8ES9>

コース詳細

コース名	小児がんコース
研究科等名	医学研究科大学院生、健康マネジメント研究科大学院生、薬学研究科大学院生、一般医師、看護師、保健師、助産師、薬剤師、臨床検査技師 等
専攻名	小児外科、小児腫瘍科
養成(受入)人数	2 名程度（聴講者も含めて 7 名程度）
期間(合計時間)	必修 4 時間（講義 2 時間、症例検討会 2 時間）、選択実習 3 時間
研修の専門分野	小児腫瘍学
受入開始時期	2026 年 9 月頃
概要	<p>小児がんは小児腫瘍科、小児外科などの小児の外科系診療科、放射線科、病理など多領域の専門家による総合的チーム医療であり、診断・評価には小児病理や遺伝子解析が必須である。</p> <p>慶應義塾大学ではこれらの広い領域の専門医を擁し、自治体の小児がん拠点連携病院として小児がん臨床研究の拠点となっている。このコースでは慶應義塾大学病院ならびに関連病院も含めた小児がん拠点医療のスタッフの協力で、小児がんの主な分野に関するセミナーと、小児科系、小児外科系の選択制による臨床現場における実習で構成されている。本年度は特に近年小児がん治療の臨床現場でトピックとなっている生殖機能温存に関して知見を深めることを主な目的とする。臨床現場では、臨床試験の進捗も体験が可能であり、総合的な視点を持って小児がん治療全体を俯瞰できる臨床医の育成を目指す。</p> <p>当初、体系的な課程に対する募集は医師に限定されるが、セミナーはそれぞれ公開制であり、医師以外の職種、領域の受講者の参加を広く募集している。</p>
コースの流れ	<p><必須科目></p> <p>小児腫瘍内科学、小児腫瘍外科学、小児脳神経外科腫瘍学、小児泌尿器科腫瘍学、骨軟部腫瘍学、小児腫瘍病理学、放射線診断学、放射線治療学、AYA 世代・長期フォローアップ</p>

	<p><選択科目> アドバンス小児腫瘍学実習、アドバンス小児腫瘍外科学実習</p>
担当教官	<p>【主たる指導スタッフ】 藤野 明浩（小児外科学総論）、嶋 晴子（小児腫瘍内科学）</p> <p>【協力指導スタッフ】 狩野 元宏（小児腫瘍外科学）、西本 真章（小児脳神経腫瘍学）、浅沼 宏（小児泌尿器腫瘍学）ほか当院整形外科、放射線診断・治療科、腫瘍センタースタッフなど</p>

募集要項

募集人数	医師 2 名程度　ほかメディカルスタッフのセミナー聴講を歓迎
応募資格	医師、看護師、保健師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、その他小児がん診療に興味を持っている人材
応募期間	2026 年 6 月 1 日～2026 年 8 月 31 日
選考方法	公募
選考スケジュール	2026 年 7 月上旬～ 選考完了次第通知